

## 食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 栃木県

実施担当会員社名	有限会社 枝種苗本店	
実施校名	那須塩原市立黒磯小学校 特別支援学級 17名 2年生2クラス 43名 合計 60名	
実施期間	平成 31 年 5 月～令和元年 10 月	
栽培品目（品種）	ひまわり、二十日大根、ミニトマト、ポップコーン、ミニ南瓜 オクラ、茄子、胡瓜、ピーマン、サツマ芋、ニンニク、大根	
提携協力先	な し	
実施概要	時 期	内 容
	5 月 8 日	整地、施肥、支援学級 ひまわり播種、二十日大根播種
	5 月 13 日	2 年生 ミニトマト定植
	5 月 18 日	支援学級 ポップコーン、ミニ南瓜、オクラ定植
	5 月 24 日	2 年生 茄子、胡瓜、ピーマン定植
	5 月 30 日	支援学級 サツマ芋定植、ニンニク収穫、除草作業
	7 月 21 日～8 月 25 日 (夏休み)	随時管理
	8 月 25 日	2 年生 大根播種
	10 月 1 日	支援学級 ポップコーン収穫
	10 月 25 日	2 年生 大根収穫
	10 月 30 日	支援学級 サツマ芋収穫
学校からの評価	<p>枝さんに色々ご指導をいただき、とても勉強になりました。何よりも、子供たちが興味をもって野菜を観察したり、世話をしたり、おいしそうに笑顔で食べたりしている姿を見ることができ、担任として大変うれしく思います。2年生の学習に関わっていただいたおかげで、本当に充実した活動となりました。子供たちの感想を読み、野菜を育てた経験が子供たちを大きく変えたことが分かります。お忙しい中、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。</p> <p>私自身、野菜を育てたことがあまりなく、枝さんから教わること一つ一つがとても新鮮で楽しみになっていました。給食を残す子がとても少なくなりました。</p>	

<p>児童からの声</p>	<p>自分たちが育てた胡瓜がおいしかった。</p> <p>ミニトマト、とても甘かったです。</p> <p>ナスは胡瓜やピーマンと違って収穫できるのが遅かったです。でも遅いだけ美味しかったです。とても嬉しかったです。</p> <p>これからも野菜をいっぱい食べたいです。</p> <p>ナスは嫌いだったけど美味しかったです。</p> <p>お家でも野菜を育てたいです。</p>
<p>実施担当者の感想 今後の課題・要望</p>	<p>昨年までは支援学級で食育活動をしていましたが、今年は2年生の先生方から生活科で野菜を育てるので是非ご協力をと依頼を受け、昨年の約3倍の児童数の食育活動を指導することになりました。</p> <p>支援学級、2年生とそれぞれ理解しやすいように品目、指導の仕方を先生方と相談しながら食育活動を実施しました。</p> <p>今年は4・5・6月と不安定な気候が続き非常に管理が大変でしたが、子供たちの笑顔のために頑張りました。</p> <p>栽培品目は大体、夏休みに収穫のピークがくるので今後は露地抑制裁培できる品目を検討していきたいと思います。</p>

## 食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 栃木県

実施担当会員社名	池田種苗店	
実施校名	日光市立今市第二小学校 <u>2</u> 年生 <u>2</u> クラス 合計 <u>52</u> 名 合計 生徒52名 + 教員2名	
実施期間	4月18日 ～ 12月4日	
栽培品目 (品種)	ミニトマト、中玉トマト、キュウリ、ナス、エダマメ、オクラ、ピーマン、落花生、トウガラシ、小松菜、空芯菜、ズッキーニ 白菜 (白芯・黄芯・オレンジ芯・たけのこ型・紫系)	
提携協力先	日光市青少年クラブ協議会 (4Hクラブ)	
実施概要	時 期	内 容
	4/18	今市第二小学校へ食育事業提案 (TEL&FAX)
	4/24	今市第二小学校にて打ち合わせ
	5/7	子供たちが育てたい野菜のアンケート集計完了
	5/16	栽培品目種まき、種の観察、クイズ、定植作業
	5/28	今市第二小学校にて打ち合わせ 生育状況観察
	6/11	定植作業、収穫、剪定
	6/28	生育状況観察、追肥、みずやり等の管理作業
	7/13	夏休み中の観察、管理方法のレジュメを配布
	8/28	打ち合わせ
	9/17	定植作業
	9/24	定植後の生育確認と植え直し
	10/21	追肥作業、生育状況確認
	11/18	生育状況観察
	11/25	打ち合わせ
12/4	収穫	
学校からの評価	<p>生活の時間の中で、教師が生徒に野菜づくりを教えようとする、どうしてもトマトならトマトだけと、多品種の栽培を行うことは難しいです。しかし、生徒の要望を聞いて、生徒が育てたい興味のある野菜を材料に、野菜栽培のプロが食育活動を推進してくださるので、嬉しく思います。また、まさかプランターで野菜育つとは思っておらず、植物の成長の過程を生徒と観察することができ、更に収穫することまでできて、本当に嬉しく思います。</p> <p>また、必要な時期に応じて、平日だけでなく、土日でも定期的に管理をして頂</p>	

	<p>くなど、ご協力頂きまして、本当にありがとうございました。</p>
<p>児童からの声</p>	<p>たくさん採れてうれしかった。      美味しい野菜がとれました。      家に持ち帰って、家族と一緒に食べられて良かった。      毎日ちよつとずつでも成長している姿を観察できて楽しかった。      野菜ごとに色々な違いがあることを知れました。      何でも聞いて答えてくれるので、とても楽しかったです。      今度は別の作物にも挑戦してみたい。      色々野菜のことが勉強になりました。      漬けものにしてみたい。      鍋にしてみたい。</p>
<p>実施担当者の感想      今後の課題・要望</p>	<p>毎年書かせて頂いておりますが、本当は畑を利用した事業をして、収穫して、それを全員で調理して美味しさを共有するところまで達成させたいところですが、学校側、PTA 側の想いを汲むと、なかなか難しいところがあります。また、栽培においてプランターを使用するため、土耕栽培より栽培管理（特に水分管理）が難しい面があります。生徒に面倒をみてもらおうと、灌水のお願いをしても、十分に水をやりきれず、水不足になってしまう株が見受けられるので、そのフォローが重要になってきます。今年も3日に1回は定期的に学校を訪問し、管理の状況を逐一チェックしておりました。</p> <p>毎年悩むところですが、面倒を見てくれる生徒と、面倒を放棄してしまう生徒さんの差があることが悩ましいところです。「頑張れば良いものができる」、「頑張らなければ作物は育たない」ということを感じてもらう必要もあるのではないかと考えております。また、農薬の使用についても、「使わない」のか、「使って綺麗な作物を育てる」のかも、生徒と先生と一緒に話し合うことが大切だと考えております。</p> <p>実際に事業を展開していく中において、採りたての野菜を生徒に試食してもらい、本来の味を実感してもらうことが出来たことについては、毎年感じるのですが、必ず意味があったと強く思います。</p> <p>今後も方法はどうあれ、子供たちに少しでも食の大切さや栽培の難しさ、野菜の不思議や面白さを感じてもらえる事業を地域で展開していきたいと思うと同時に、子供だけでなく、その親も含めて「食育」に注目してもらえるようなアプローチをしていきたいと思っております。</p>